令和3年8月10日開会

議会運営委員会会議録

鳥取県西部広域行政管理組合議会

議 会 運 営 委 員 会 会 議 録

~~~~~

日 程

日 時 令和3年8月10日（火）
午後1時30分開会
場 所 米子市淀江支所 第2会議室

- 1 開 会
- 2 協議事件
  - (1) 本日の予定について
  - (2) 組合議会会議規則の改正について
  - (3) その他
- 3 閉 会

~~~~~

出席委員（5名）

委員長	今城 雅子	副委員長	米本 隆記
委員	戸田 隆次	委員	足田 法行
委員	山本 芳昭		

~~~~~

欠席委員（0名）

~~~~~

出席議員（2名）

議長	岩崎 康朗	副議長	森岡 俊夫
----	-------	-----	-------

~~~~~

当局出席者

事務局長 三上 洋 事務局総務課長 生田 公志

~~~~~

事務局の職員

書記長 針田 智子 書記 堀尾 周作

~~~~~

1 開 会

午後1時30分 開会

○**今城委員長** ただいまより、議会運営委員会を開会いたします。協議に入ります前に、議長から通知がありました組合議会議員の異動についてお知らせをいたします。議会閉会中の7月4日に江府町議会選出の上原議員が任期満了となられまして、新たに三好議員が選出をされております。

~~~~~

2 協議事件

○**今城委員長** それでは、日程2、協議事件に入りたいと思います。(1) 本日の予定について、事務局から説明をお願いいたします。

○**針田書記長** 委員長。

○**今城委員長** 針田書記長。

○**針田書記長** そういたしますと、本日の予定について説明をさせていただきます。資料の1、全員協議会等日程を御覧いただきますよう、お願いいたします。本日は、この議会運営委員会の後、午後2時から議場にて組合議会全員協議会が予定されております。案件は、鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想案のパブリックコメント実施結果の報告について、というものと、鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の報告について、の2件でございます。いずれも5月17日から6月15日までを募集期間としておりました、一般廃棄物処理施設整備基本構想案に対しますパブリックコメントが終了したことに伴い、その結果等につきまして、議員の皆様方に御報告をするものでございます。全員協議会が終わりましたら、会場準備のための休憩をはさみまして、引き続き議場にて、ごみ処理施設等調査特

別委員会が開催されます。案件は、一般廃棄物処理施設用地選定方針について、一般廃棄物処理施設用地選定委員会委員について、濃縮水処理施設設計審査業務の結果報告及び施設設置方針について、の3件でございます。ごみ処理施設等調査特別委員会が終わりましたら、同様に会場準備のための休憩をはさみまして、総務消防常任委員会が開催されます。案件は、消防局指令課に対します1件の所管事務調査でございます。総務消防常任委員会が終わりましたら、同様に会場準備のための休憩をはさみまして、民生環境常任委員会が開催されます。案件は、事務局施設管理課に対します3件の所管事務調査でございます。以上でございます。

○今城委員長 事務局から、本日の予定について説明がございました。何か御質問等ございませんでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○今城委員長 はい、よろしいでしょうか。では、ないようですので、次に、協議事項の2、組合議会会議規則の改正について、を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。

○針田書記長 委員長。

○今城委員長 針田書記長。

○針田書記長 では、協議の2のほうにつきまして、資料の説明をさせていただきます。お送りいたしました資料は、資料2-1、資料2-2という2分冊になっているものでございます。まず、資料2-1のほうでございますが、先般7月31日を締め切りといたしまして、委員の皆様から組合議会会議規則の改正について御意見をいただくようにしております。その結果を取りまとめたものでございます。で、改正の必要があると思われる、というチェックをいただいたものを、それぞれ全委員の皆様方の回答を、表の右側に載せております。表の左端が現行の会議規則、真ん中が米子市議会会議規則というこの表組みは、前回5月31日に開催いただきました議会運営委員会の際にお配りした資料と同じものでございます。で、その、皆様方からの回答を踏まえまして、次に資料2-2のほうですが、改正の必要ありと判断された委員の方々がそれぞれいらっしゃいますので、その件数ごとに項目を絞ってまとめたものでございます。資料につきましては以上でございます。よろしく願いいたします。

○今城委員長 ただいま、事務局から資料について説明がございました。本日は2時から全員協議会ということでございますので、あまり時間もございませんが、事前に皆様にお知らせをしたということもございますので、資料2-2を使って協議をさせていただきたいというふうに思っております。まず、資料2-2の第1項目から入るわけですが、あらか

じめ皆様にもう一度御確認させていただきたいのは、前回は申し上げましたが、本組合議会の会議規則に対してはですね、最後の条文としまして、補則第55条で、この規則に定めるもののほか必要な事項は、米子市議会会議規則の例による、というふうに決めているところでございますので、基本的には当組合議会にどうしても議会の規則として入れておかなければならないというものについて、今回検討いただきました上で、提案をしていくということを基本とさせていただきたいというふうに思っております。また、これは確認をする必要もないことですが、やはりこういう規則ものですので、皆さんで合意形成が全部できたというところのみ今回、規則の改正というところで提案していきたいかなというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。2-2の、まず第1項ですが、現行の第2条につきましては、全員の委員さんから改正が必要であるというふうに御判断をいただいております。2-2のところで、全員の委員さんが改正の必要ありというふうになっておりますので、これは改正するということで、皆さんの御異議はないものと思っておりますが、これでよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 いいですね。それはいいということで。で、次にですね、はぐっていただきまして、2の(1)のところ。で、改正の必要がある、という項目について、4人の委員さんが改正の必要があるというふうに出していただいているのが、先ほどの2条のところと酷似しているところですが、委員会の欠席についての事項です。で、この事項については、当議会の委員会のほうで、なかったと思っておりますので、これは追加ということで、委員会の欠席についてということの整合性を取って、ここを入れたほうがいいのではないかなというふうに私は思ったりしました。4人の委員さんがそのようにおっしゃってくださっております。で、この66条のところはですね、山本委員さんがチェックが入っていないところでして。これは、さっきの55条のところがあるということ踏まえて、特に改正が必要であるとは考えていないという、まあそういう意味でチェックをしておらんかったんです、というお話を事務局を通して話を聞いておりますが。改めてこの件について、4人がするってことには、いいんじゃないかということですので。全員一致ということになったときに、山本委員さんの御意見を頂戴すればと思っております。

○山本委員 はい、よろしいですか。

○今城委員長 はい、山本委員。

○山本委員 先ほど、委員長おっしゃったとおりでございまして。最初

に入れてあるので、あえてここで入れる必要はないのかなあというふうに思ったところです。皆さんが必要だと言われれば、異議もありません。はい、結構です、入れていただいて。

○今城委員長 そうしましたら、この2の(1)、委員4名の改正必要ありということ、委員会の欠席の届について、山本委員さんも合意いただけただけということで、改正をさせていただくという条項に入れさせていただいてよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 では、そのようにさせていただければと思います。その次に(2)のところなのですが。(2)のところは、委員さん3名によって、改正の必要があるというふうに判断をしていただいた項目となっております。現行の組合議会の会議規則第19条のところには、調査の終了、というところが入ってなくて、審査の終了、というだけになっているんですが。調査案件等のことをずっと当議会の委員会はやっておりますので、調査の終了、ということも入れたほうがいいのではないかと判断理由となっております。現行の会議規則において規定がない、米子市議会の会議規則の例によることとなっている表決に関する規定について、まあ当然のことではあるんですが、関連するその前後の規定が組合議会会議規則に定められていることから、一体のもとして整備すべきというのが判断理由というふうになっているところです。こちらについては米本副委員長さんと、それから山本委員さんが、多分これも55条にあるということ踏まえての御判断だったのではないかなというふうに思っているのですが。この辺についてはどういたしましょうか。

○山本委員 あの。

○今城委員長 はい、山本委員。

○山本委員 最初に確認を取りたいのは、その55条があるということが大前提だと思うんで、そこに読み取れるんだったら改正する必要はないと、基本的に私は思ってまして。それをしないなら、全部変える必要があるというふうに思います。その確認をちょっと取っていただきたいと思います。

○今城委員長 米本委員さん。

○米本副委員長 私も同じ意見でして。いろいろ考えてみまして、55条に、ある条項がありまして、ないものは米子市議会の例に倣うということがありますので、そこでどうかなということちょっと思ったんです。

○今城委員長 はい、承知いたしました。そうしましたら、一回、議会運営委員会の中で確認というふうにおっしゃってくださいましたので、

まず、第55条があるということ踏まえて、今皆さんが全会一致でということ、欠席条項なかった、米子市のほうでも公務、出産とかそういう様々なことを入れましたので、そこについて改正をするという、そこについては皆さん合意いただけましたが、それ以外、ほかのところは、55条の例によるということ踏まえて、今回、改正については必要ないのではないかという、まあそういう御意見、もし、するんだったら全てをしなければならいのではないかという御意見です。それについて、皆様の御意見を頂戴できればと思います。お二人はもう頂戴したので、よろしいですか。では、足田委員さん。

○足田委員 私も、そもそもそういう意見だったんです。細かく見てみると気になる部分があって、そういうところチェックはしたんですけど。そもそも55条があるんで。新しいこの、欠席、とか、またこの後出てくるかもしれませんが、押印、とかね、新しいそういった部分できた部分は、まあちょっと考慮に入れて載付けてもいいかなとは思ったんですけど。まあ、それ以外は55条に準じていっていいのかなと私は思った次第です。ですからこれは別に、これがそのままね、これが主張をそのままというわけでもないんです。考慮してください。

○今城委員長 はい、分かりました。はい、承知しました。戸田委員さん。

○戸田委員 委員長。

○今城委員長 戸田委員。

○戸田委員 まあ、55条の適用を優先するというのであれば、まあ、それでやぶさかではないですが。昨今に、こういうふうな事例がいっぱい出てくるので、ある程度私は細分化をして明文化をしといたほうが、私は適切であろうというふうに考えて、この辺の明文化をしておいたほうがいいという私の考え方です。

○今城委員長 はい。そうしますと、一旦ここで55条の扱いとしてのものを一度きちっとした上で、これ進んでいかんといけん、というふうに私は思っているところなんですけれども。今、3人の委員さん、私も55条があるということ踏まえてなんです、55条を踏まえての進み方をしていけばいいのではないかという御意見を3人の委員さん。戸田委員さんからはお一人、55条ということ踏まえても、やはり明文化していくほうがいいのではないかという御意見を頂戴いたしました。確認として、ここで、これから進んでいく上で、このところをはっきりさせていただかないと、やはり進み方が難しいかなというふうにも思いますので。これで決を採るとするのが本当に正しいかどうかということとはちょっと難しいんですが、戸田委員さんが先ほど55条というところ

で、やぶさかでないというふうにおっしゃってくださっておりましたので、もし戸田委員さんが、55条ということ为前提にということ御了解をいただけるようでしたら、55条を前提にということ進んで行けるかなというふうに思いますが。戸田委員さん、いかがでしょう。

○戸田委員 委員長。

○今城委員長 戸田委員。

○戸田委員 よろしいですよ。

○今城委員長 では、55条を前提にということ進めさせていただくということ御了解いただきましたので、その方向でよろしく願います。ということになりましたら、今皆さんで2の2のほうで検討いただきました第2条のところ、1項、2項を追加するということ。そして第66条の2の1項、2項、欠席、の部分ですが、ここまですべて皆様御了解いただけまして、意見集約ができたところかなと思っておりますので。この部分については全会一致ということで、改正に向かわせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 ありがとうございます。そうしましたら取りあえず、改正が必要だという部分についてまとめていただきましたので、8年を経過しているということ踏まえまして、速やかに改正を提案していきたいというふうに思っております。で、11月が定例会という運びとなっておりますので、こちらで提案を予定して、改正案をお示しすることにしたと思いますが、これについてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 では、そのようにさせていただきたいと思えます。先ほど、55条を前提にということでしたが、それ以外のところでも少し変わってきているところ等もなくはないと思っておりますので。今回のこの改正を11月にしたとしまして、その後の扱いとしてはどのように皆さん、させていただいたらよろしいでしょうか。ありがたいことだと思いますか、議長から選任いただきました委員会の構成は変わらないということのようですので。今55条ということ大前提にするということでしたら、これ以上の改正はそうたくさんしなければならないというわけではないというのが、多分大勢を占める意見だと思うんですが。この後も改正に向けての様々な協議を、この委員会でやる必要があるかなにかというところ。

（「取りあえず、いいじゃないですか。」と声あり）

○米本副委員長 いいですか。

○今城委員長 はい、米本委員さん。

○米本副委員長 法的に改正されたところについてもうはっきりしていますから、そういったところについては改正されてもいいかと思うんですよ。ただ、あと、まだちょっといろいろな面があるときには、その米子市の55条で米子市の例に倣ってということでもいいと思うんですが。

○今城委員長 はい、承知しました。そうしましたら、もう一度そこら辺の精査をするということを前提に、これ以上のところは、今のところは11月に向かって、または、それ以降に検討をするということは法的な問題を含めてどうなのか、というところを一度精査するというところでよろしいでしょうか。

○戸田委員 ちょっと委員長。

○今城委員長 はい、戸田委員。

○戸田委員 私ね、今日に当って、事務局のほうから、それだけ議会の案件に携わっておるわけですから、事務局のほうからこういうふうな案件を提示されたわけですけれども、事務局の案というか考え方、私は、考え方をある程度こちらに並記されて、ある程度私は協議を今日丸めていくのかなと私は思っていました。全くそれが無いのに、私たち議会で議論しておって、ただ、視点が違った面で議会事務局としてのこういう考え方もありますよというのは、私は提示があってもいいと思う。それが全くなしで私たちが議論する。本来は私たちが議論することなんですけれども、やはり事務をつかさどっている事務局のほうからも、こういうふうな考え方もありますよというようなことを提示されて、この考え方と並記をされて、そこでしんしゃくをして、ある程度丸めていくんだというスタンスかなあと私は思っておったんです。事務局はそういうふうな考え方は全く持っていないんですか。

○針田書記長 委員長。

○今城委員長 針田書記長。

○針田書記長 事務局として、資料の提示が少なかったということに関しては、まずはおわびを申し上げます。大変申し訳ございません。県内の3広域の状況でございますが、東部広域は鳥取市が議会事務局をそのまま併任で持っておりますので、鳥取市の議会規則を準用といたしますか、そのまま使っているという状態でございます。中部広域につきましては、独自で議会事務局を持っておられますけれども、これも倉吉市の議会規則その他を準用するという形になっております。全国的には、中心市の議会の規則を使うというところが多いんですけれども、中にはもちろん独自に、一つの自治体であるということをもって独自の規則を設けておられるところもございます。それは、どちらが正しいとか正しくないということでは一応ないというふうに考えておりますので、議会

の皆さんの御意見を伺えば、というふうに思っていたというところがございます。以上でございます。

○**戸田委員** 委員長。

○**今城委員長** はい、戸田委員。

○**戸田委員** 私はそうではなくて、批判しているわけではないんだよ。この案件について、私も米子市の議会規則を一生懸命見させていただいた。で、私はこういうふうに見たとしても、事務局としては違った観点を持つとるかもしれません。で、事務局の考え方の案を提示されて、これと並記されて、それである程度そういうふうな素案の素案をとというようなことがあれば、私たちも十分にもっと深度が図れるような議論ができたかもしれない。その辺のところを私は期待しておったので、それがなかった。ああ、ないのか。じゃあ、どういうふうな持っていき方をするのかなあ、と私は思っていましたけど。まあ、そういうふうなところを私は思っていましたので、機会があればそういうふうなところも、いわゆる提供っていいですか、そういうのを出していただければ、私は今後のためにもいいのかなと。例えば、米子市議会規則に準ずる、と並記される。それで構わんと。この部分がやっぱり整備していかないけんというような考え方があれば、提供していただければ私たちもそういうふうな考え方を反映できたのかなというふうに思うと。そういう意味です。

○**今城委員長** はい、承知いたしました。三上局長。

○**三上事務局長** ちょっと今、事務局案といいますか、具体的な提案があってもよかったのではないかなと。考え方を示したほうがいいのではないかという御意見を頂きました。私どもとしても委員長さんといろいろ相談させていただきながら、今回このような形での提案になったわけですけども。戸田委員さんが言われました、事務局案も一つのたたき台としてあったほうが良いという御意見でございますので、今後につきましてはですね、そういう形で事務局の考え方もお示しをさせていただいた上で御検討いただけるように、そういう形での進行のほうを考えたいと思いますので。はい、ありがとうございます。

○**今城委員長** お世話になります。よろしく申し上げます。それですね、皆様に一つ御相談させていただきたいんですけども、米子市の選出議員は、当然米子市の会議規則というのを全員、毎年毎年改正されたものも含めて持っているんですけども、境港も含めて町村の議会の委員さんには多分お持ちになっていらっしゃると思います。で、インターネットとかで当然出るんですけども、やはり準拠するというような、例によるというふうな形をしているにもかかわらず、該当の議員さん達がそれを持っていないというのも、あまりいい事ではないのか

なというふうにも思ったりするところですので、もし皆様の御意向で全員にそれを、西部広域の議員に配ったほうが良いというふうにおっしゃるようでしたら、ちょっと事務局とも相談しながら、その部分だけとか、ということも考えてはどうかなというふうに考えているところなんです。皆さんは御意見いかがでしょうか。

〔「はい、いただければ助かります」と声あり〕

○今城委員長 そうしましたら、ちょっと事務局とも相談しまして、お渡しするタイミングですとか、何か検討をちょっとさせていただきたいと思いますが。組合としての規則があつて、準拠すべきものはこれですよってということも踏まえて分かるような形にしていけば、皆さんには御不便かけないのかなと思いますので。少し検討をさせていただいた上で、そのような方向でお願いできればと思いますので、よろしく願いいたします。では、この件についてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 そうしましたら、次に協議事項の3でございますが、当局及び委員の皆様から何かございましたらお願いをいたします。よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

○今城委員長 それでは、別にないようでございますので、これをもちまして議会運営委員会を閉会いたします。

○森岡副議長 すみません、委員長。委員外からでよろしいですかね。いいですか。一回閉会したほうがいいですか。いいですか。

○今城委員長 はい、森岡副議長。よろしいです。副議長、お願いいたします。

○森岡副議長 55条の準用の考え方はですね、もう一回皆さんに、きちんと共通認識を持たれるような考え方にしておかないと、同じ項目のものが例えばあるとするじゃないですか。例えば、修正の動議、だとか。それについては、地方自治法に基づいた議員定数の12分の1だとかいうことで、定数、これ今の組合議会あるんですよね。ところが、米子市さんは米子市さんで、米子市さんの定数を基にした人数をしてるので。そこら辺をね、やっぱりその55条あるから、米子市さんの適用なんだよっていうよりも、やはりこの組合の会議規則なんで、法律に準拠した形の考え方であったり。それから、準用する項目ね。例えば同じ、例えば1条の、参集、という項目があれば、それはもちろん会議規則が優先です。ただし、そのほかの会議時間の項目なんかはありませんので、そういったことに関しては米子市さんのものを準用するというような、きちんとした交通整理をしておかないと。何でもかんでも米子市さんの

ものを準用すればいいよってなれば、ちょっとダブルスタンダードになる可能性がある項目が出てくるはずなので。そこはちょっと十分に注意していただきたいんです。それはやっぱり事務局のお仕事なのかなと。先ほど戸田委員がおっしゃったように、やっぱり事務局サイドがきちんとした一本背骨の入った考え方を基にした会議規則をつくったほうがいいと思います。今のままだとちょっと何となく背骨がないので、その考え方がうまく皆さんに伝わらない可能性があるんじゃないかなというふうに、今、議論を聞いていて思いましたんで。その辺はちょっと事務局のほうで対応してやってください。

○三上事務局長 分かりました。承知いたしました。

○今城委員長 では、よろしく願いいたします。

~~~~~

3 閉 会

○今城委員長 それでは別にないようですので、これをもちまして、議会運営委員会を閉会をいたします。

午後1時55分閉会

鳥取県西部広域行政管理組合議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

議会運営委員長

今 城 雅 子